



おおさわ学園

おおさわ学園コミュニティ・スクールだより

おおさわ学園 コミュニティ・スクール委員会 会長 三瓶恭子

<http://mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html>



「楽しみは～の時」

学園長 勝野 能光



楽しみは 朝起きいでて 昨日まで なかりし花の 咲ける見る時
 楽しみは 珍しき書 人に借り はじめ一ひら ひろげたる時
 楽しみは 三人の子供 すくすくと 大きくなれる 姿見る時
 楽しみは 心をおかぬ 友だちと 笑い語りて 腹をよる時
 楽しみは 木の芽煮やして 大きな饅頭を 一つほうばりし時



江戸時代、今の福井県に生まれた橘曙覧(たちばなあけみ)という歌人が、「楽しみは～の時」という形式で和歌を多く詠みました。毎日の小さなたわいもないことに嬉しさ、楽しさを見つけています。和歌を味わってみると、なんだか癒される感じがするものばかりです。

新型コロナウイルス感染症対策の生活でしたが、毎日の家庭や学校生活の当たり前の中にも楽しいことやうれしいことはたくさんあります。それを見つけ出して毎日の生活を心豊かに過ごしていくことができれば素晴らしいことだと思います。

おおさわ学園の皆様も一首詠んでみましょう。皆様の「楽しみは～」どんな歌となりますか？



評価を通して見たおおさわ学園の子どもたち

CS委員 磯崎三喜年

与謝蕪村の句に、「たらちねの 抓(つま)まずありや 雛の鼻」がある。世の親は高くなれと鼻をつまんでやるのに、この雛の鼻が低いのは、母親がそうしてやらなかったせいかな、と『蕪村春秋』(高橋治)にある。子の成長を願う保護者(そして教師、地域の人々)、その思いや働きかけを子どもはどう受けとめ、巣立っていくのだろうか。

学園の子どもたちの日常は、こうした成長を願う人たちとともにある。その日常や成果を切り取った断片が、「自己評価・関係者評価」である。つまり、ここでの評価は、子どもの活動だけでなく、保護者や教師、地域との関わりの反映でもある。

評価から窺えるのは、コロナ禍にあって、それを乗り越えようとする子どもたちの姿である。学園児童(大沢台小と羽沢小)は、学校生活への満足度や学校活動に対する達成感も高い。知力面はいくぶん課題ありだが、体力面は遊びも充実して期待がもてる。徳性面は、議論のあるところだが、児童は、謙虚に自己を捉えており好感がもてる。

学園生徒(七中生)で特筆すべき点は、学力が上がっていることである。知力(文)と体力(武)は、本来分かちがたく結びついている。その意味で、巷間用いられる文武両道よりも文武不岐(ふき)の語が本質をついている。文武不岐のとおり、児童の武に文も相伴って進化する。つまり、学園児童の知力は、中学生になれば大いに向上すると期待される。評価を通して、学園周辺の素敵な人(友人、教師、地域の人々)の存在に気付き、その影響を受けながら、自らを磨こうとするおおさわ学園の子どもたちの姿が目に見えようである。

磯崎三喜年氏 プロフィール

国際基督教大学 社会心理学教授博士(心理学)

「ホンマでっかTV」「DON!」等のTV番組に「兄弟姉妹評論家」として出演。

著書「きょうだい型人間学」(河出書房新社)など多数。

H27～おおさわ学園 CS委員を務める



CS委員会では昨年度に引き続き『おおさわ学園アクションプラン』に基づいたアンケートを11月に実施しました。その結果を受け、評価部会では、保護者と児童・生徒で生じる認識の差について議論しました。
 以下はアンケート結果の一部です。詳しくはHPに掲載してありますので、是非ご覧ください。

アンケート結果のQRコード→



学園の目指す児童・生徒像	心身ともにたくましい人	心豊かで共に生きる人	学び続ける人
三鷹「学びのスタンダード」	生活リズムを整える	人との関わりを豊かにする	学ぶ姿勢をつくる
おおさわ「学びのスタンダード」	時間を大切に	言葉を大切に	「なぜ」を大切に
学校	教員の働き方改革	読み取る力、読み解く力、文章を書く力	地域環境を活用した体験学習から知識興味を広げる
子ども	自分の時間を大切に	気持ちを言葉で表現する	わからないことをそのままにしない
家庭	成長段階に応じた環境づくり	言葉でのコミュニケーション	学習したことを生活で活かす環境づくり
地域	チャレンジの場を作り体験を成長に	共に生きていることの喜びを実感できる場	環境づくり

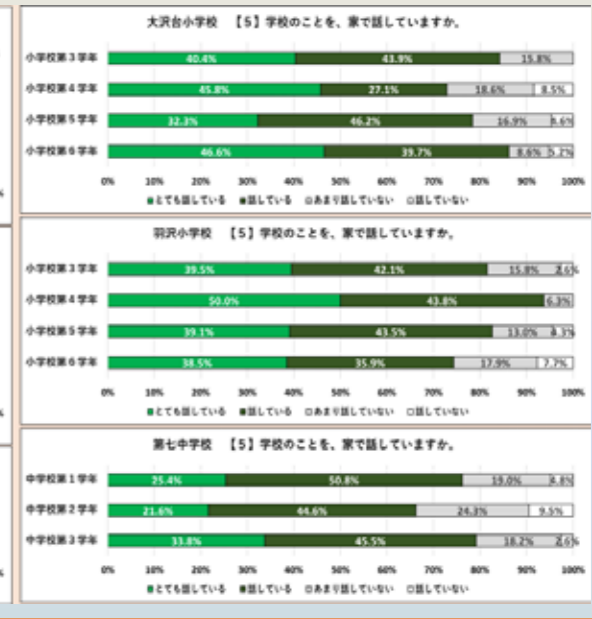
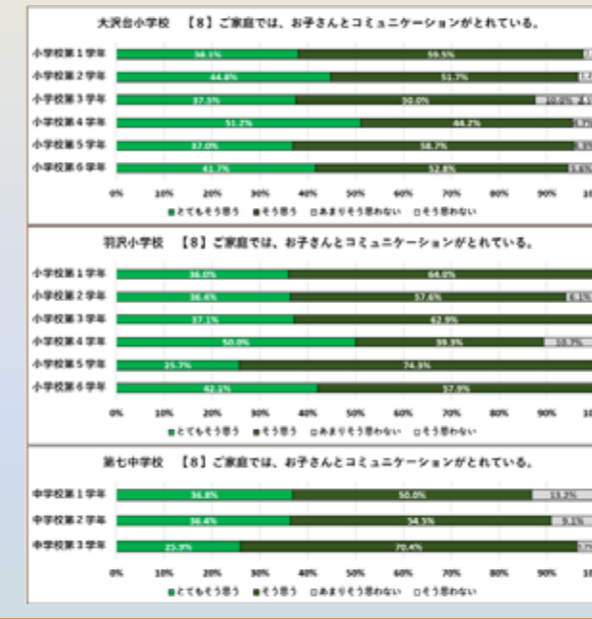
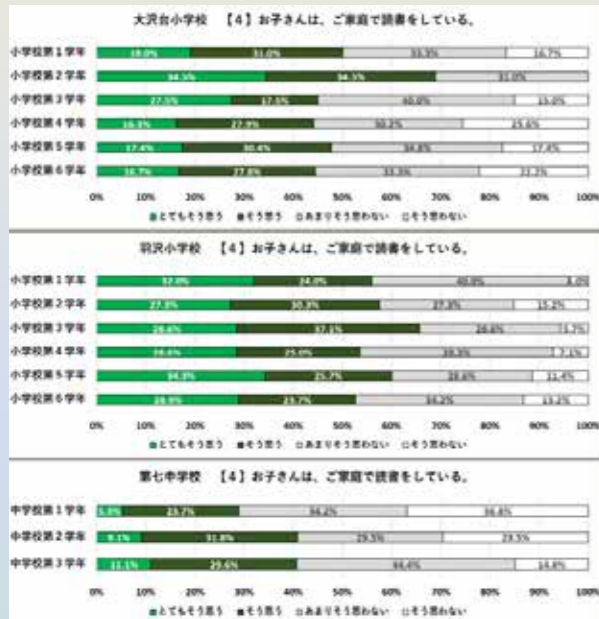
おおさわ学園アクションプラン



アクションプランとは「学園のめざす児童・生徒像」に照らし合わせ、学校では、家庭では、子どもは、そして地域ではと、それぞれ考えられることを当てはめ、それらをさらにわかりやすく具体的な言葉で表したものです。

<コミュニケーションについて>

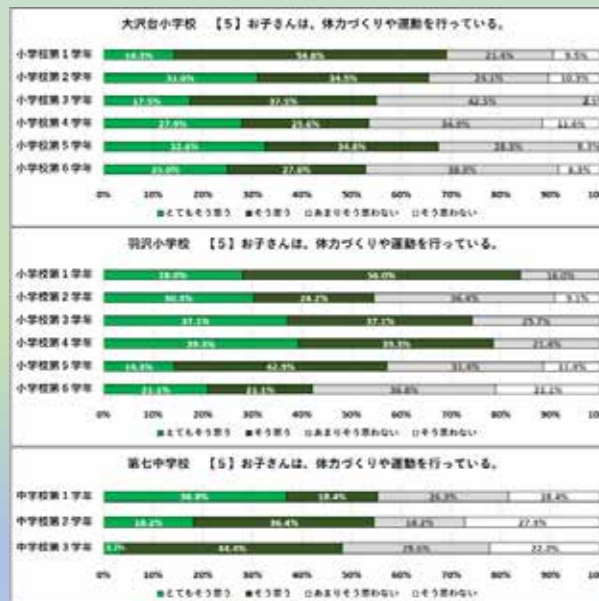
学園アンケート結果



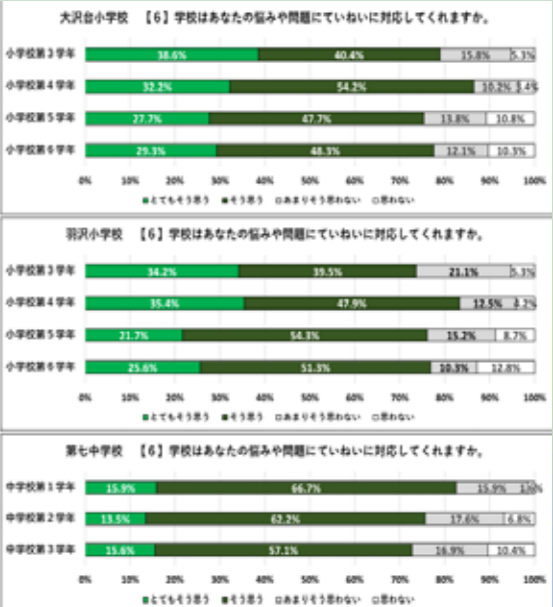
左が保護者、右が児童・生徒の回答である。今回は、「家」での読書に限定して聞いているため、肯定的な回答が50%に満たないものも多く見られる。学校では朝読書や、図書の時間(小学校)があるため、一日の生活の中で(学校・家庭)児童・生徒がどれくらい読書をしているかを把握する必要がある。また、児童・生徒が読書をする時間を学校でも更に設定すると児童・生徒が本に親しむとともに、想像力を豊かにしたり、語彙力を向上させたりすることにもつながる。

左が保護者、右が児童・生徒の回答である。保護者は、肯定的な回答がとて高く、お子さんと家でコミュニケーションがよくとれていることが分かる。各御家庭で保護者がお子さんの話を聞き、大切に育てていただいていることが伝わってくる。児童・生徒は、保護者よりは肯定的な回答が少し低いものの、「学校のこと」を家で話しているかという質問だったため、学校のことだけでなく、それ以外の話題で保護者とのコミュニケーションはとれていることも考えられる。

<運動について>



<悩みについて>



左が保護者、右が児童・生徒の回答である。児童・生徒については70%以上の肯定的な回答が目立つ。保護者は、児童・生徒に比べると体力づくりや運動に対して「もう少し」という回答が多い。体力を高めることは、生活を潤いのあるものにし、病気になりにくいたくましい体をつくることにつながる。学校では1学期に毎年、体力テストがあり、自己の体力の課題を把握する機会がある。この機会を有効活用しつつ、体育・保健体育の授業や体育・健康的な行事も充実させていく。

左が保護者、右が児童・生徒の回答である。保護者・児童・生徒ともに、70~80%以上の肯定的な回答であった。上記の内容から保護者との家庭でのコミュニケーションはよくとれていることが分かるが、心配や悩みも相談できる人は一人でも多い方がよい。学校でも、相談しやすい友達をもてるような友好な関係づくりの機会を更に増やしたり、教員・スクールカウンセラー等が親身になって児童・生徒の話を傾聴して聞けるような体制づくりを進めたりしていく。また、引き続き、いじめに対しては、「未然防止・早期発見・早期対応」を念頭にいじめ対策委員会を中心しつつ、全教職員で組織的に行う。



〈評価部会〉11月に実施いたしました「学園評価アンケート」におきましては、ご協力いただきありがとうございました。今年度はお子様のタブレットを利用しての回答をお願いいたしましたが、こちらの説明不足もありご不便をおかけいたしました。来年度はより回答を簡単にできるように評価部会で検討を重ねております。来年度以降も引き続き回答のご協力よろしくをお願いいたします。



〈広報部会〉おおさわスクール・コミュニティカレンダープロジェクト国立天文台探検隊を学園の子どもたちで結成し、来年度のカレンダーの作成に向けて活動しました。国立天文台天文情報センターにご協力いただき、敷地内の施設の見学や構内の探検をさせていただきました。また、「星と森と絵本の家」の見学も行いました。天文台の素晴らしさを改めて実感した活動となりました。



〈コーディネート部会〉少しずつではありますが子どもたちの学びの機会や地域行事が増えて、活気ある学校が戻ってきました。今年度も保護者の皆さまや地域の方々にご支援をいただきありがとうございました。来年度も『おおさわ学園の子どもたち』に寄り添い、共に歩んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

おおさわ学園 CS検定実行委員会 活動実績

検定	対象	回数	受験者数
英語検定	七中	2回	98名
算数・数学検定	大沢台小・羽沢小・七中	1回	84名
漢字検定	七中	2回	69名
	大沢台小・羽沢小	1回	151名

おおさわ学園 CSサポート隊 活動実績

実施校	サポート隊 延人数	学園共通	サポート隊 延人数
大沢台小	704名	検定	47名
羽沢小	949名	防災訓練	26名
七中	43名		

学校図書館寄贈	対象	冊数
古本	大沢台小・羽沢小・七中	218
新刊	大沢台小・羽沢小・七中	12

← おおさわ学園 CS古本リサイクル実行委員会 活動実績



2月16日CS委員会 宮崎県延岡市教育委員会 視察

延岡市教育委員会より4名の方が、次年度から導入されるコミュニティ・スクールの準備のため、おおさわ学園CS委員会を視察されました。人材の確保など共通の課題もありますが、10年以上に渡って蓄積された実績と当委員会の積極的な意見交換に感心いただきました。

春におすすめの花

季節はすっかり春になり、自然も賑やかになってきましたが、夏の花が出てくるまではもう少し時間があります。今からでも初夏まで楽しめる花を紹介します。

1つ目はルピナスです。マメ科の植物でノボリフジとも呼ばれます。気温が高くなるまでインパクトのある花を咲かせてくれます。

2つ目はマーガレットです。冬から春にかけてパステルカラーのかわいい花を咲かせます。夏の間は風通しのよい場所で管理すれば翌年も咲かせることができます。

どちらの花もそれぞれ一つでも楽しめるくらいボリュームのある花です。ぜひ見つけてみてください。～えびさわ農園～



ルピナス



マーガレット